

心を閉ざす君に



kiramekikids



心を閉ざす君に

心を閉ざす君に



耳をふさいでいる人に、なにを語りかければいいのか
どんなに大声をたてたとく、言葉は虚しくさえぎられる
向こうをむいている人に、どうしたら振り向いてもらえるのか
君の肩に角触れることさえ、僕にはできないのに
心を閉ざしている人に、なにを語りかければいいのか
どんなに熱く語ったとく、雑音として目をふせられてしまう

伝えたいよ

この気持ち

心を閉ざさないでおくれよ

雪がかならずとけるように

心の氷とかしてあげたい

君は君の狭い世界で

ひびをかかえ、うつむく瞳に

悲しみの真珠がひかる

君が意志を持って、受け入れる準備を

ととのえなければ、愛はなんの意味もない

届かない言葉ほど

悲しいことほど、ほかになし



心を閉ざす君に

<http://p.booklog.jp/book/55049>

著者 : kiramekikids

著者プロフィール : <http://p.booklog.jp/users/kiramekikids/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/55049>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/55049>

電子書籍プラットフォーム : ブクログのパー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社 : 株式会社ブクログ